

プラットホームからの転落、列車との接触事故の防止を図ることを目的に、大阪モノレール各駅のプラットホームに可動式ホーム柵を設置する計画をしています。平成30年度（2018年度）は、千里中央駅に可動式ホーム柵を設置済。残り17駅についても順次設置を予定しております。

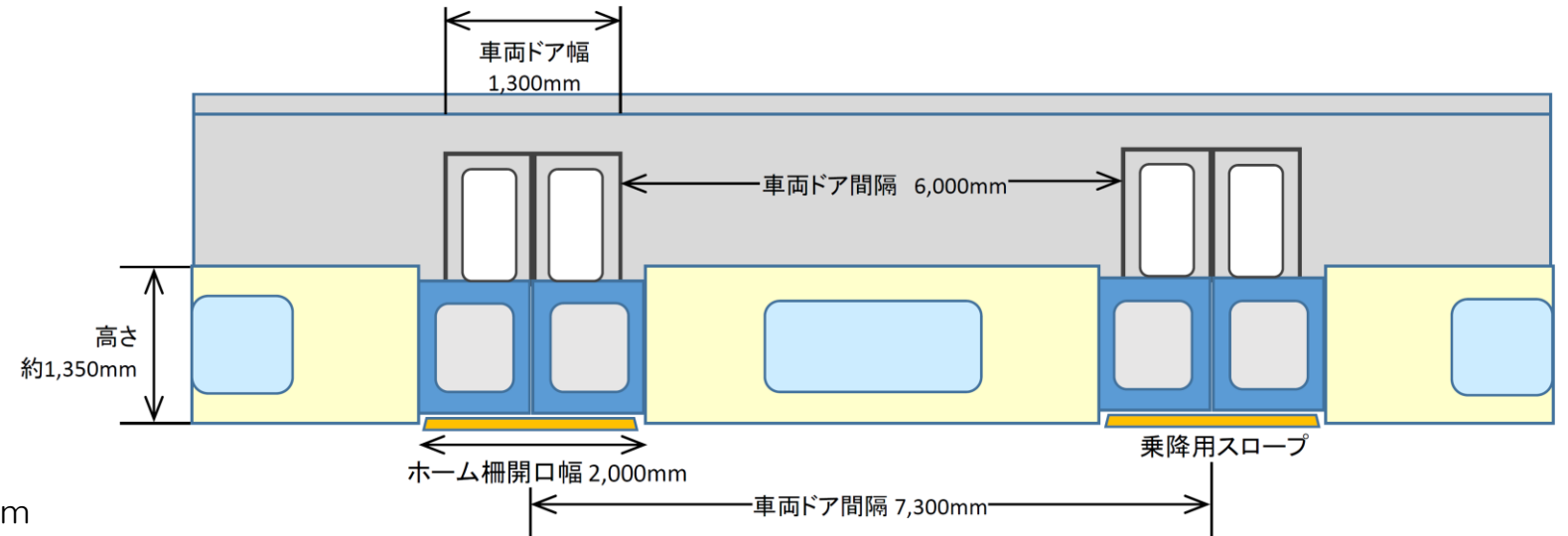
1. 現状

(1) 駅の現状

千里中央駅他 16 駅（万博記念公園駅除く） 島式ホーム 1 番線・2 番線
 万博記念公園駅 島式ホーム(2 面 3 線) 1 番線・2 番線・3 番線・4 番線

(2) 電車の現状

1 編成 4 両・車両長 57.4m 8 開口
 1 両・車両長（先頭車 14.8m、中間車 13.9m）



2. 設置する可動式ホーム柵の概要

(1) 可動式ホーム柵の仕様

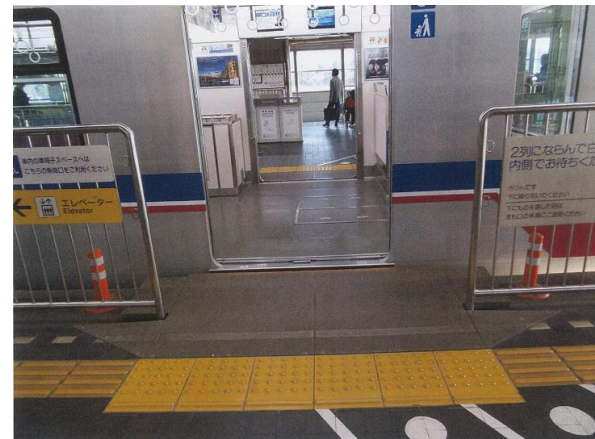
- ①腰高式 固定部ホーム床面から約 1,350mm、可動部ホーム床面から約 1,200mm
- ②開口幅 2,000mm
- ③ホーム部開口数 8 開口／番線

(2) 可動式ホーム柵の動作概要

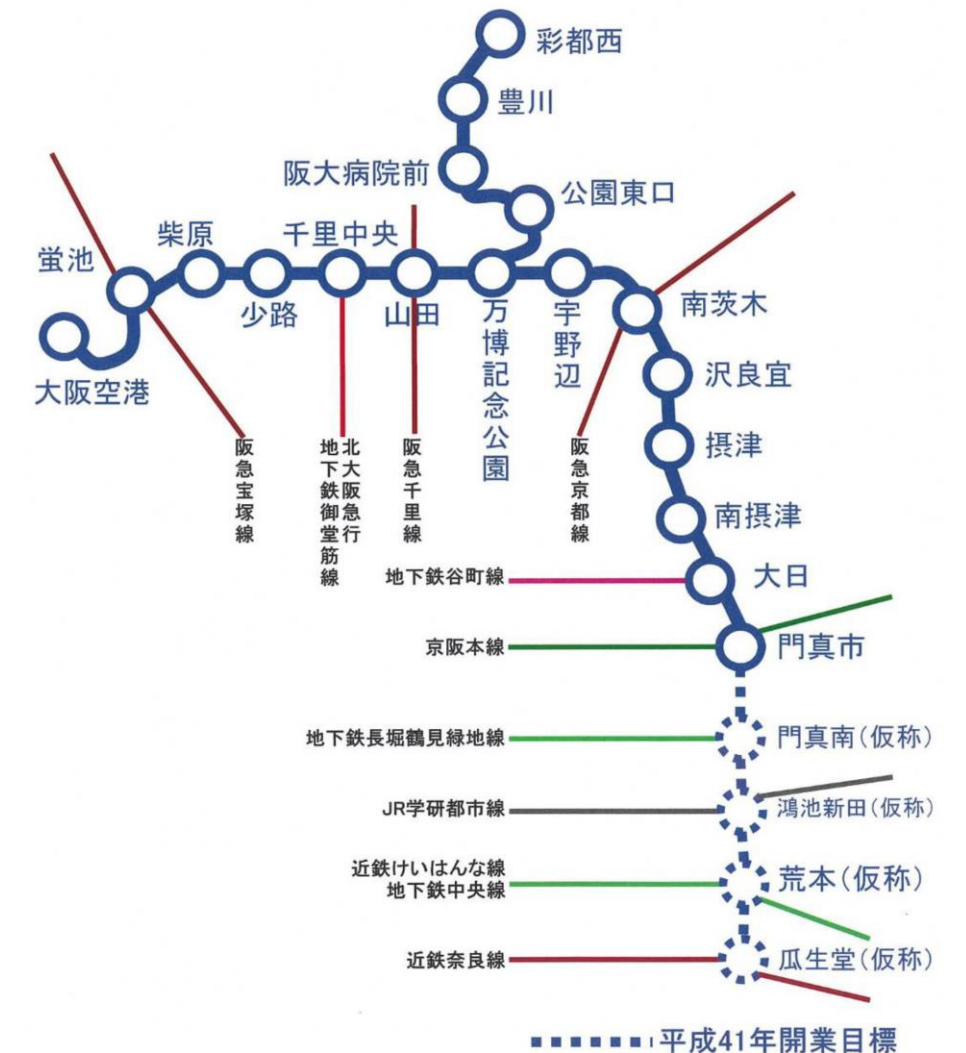
- ①プラットホームに電車が進入して、定位置停車を検知して自動的にホーム柵が開く
- ②停止している電車が扉を閉めると、自動的にホーム柵は閉じる
- ③ホーム柵開閉時には開閉音を出力する
- ④支障物検知を行う（3D センサ使用）
- ⑤戸ばさみ検知を行う
- ⑥異常時にはホーム柵上部にて状態表示灯を点灯させる

(3) 工期、供用開始時期および設置駅(豊中市内駅)

- 千里中央駅
 設置済み。 令和元年（2019年）3月21日より供用開始
- ① 蛍池駅
 工期： 令和元年（2019年）9月～令和元年（2019年）12月（予定）
 供用開始： 令和元年（2019年）12月下旬（予定）
- ② 大阪空港駅
 工期： 令和元年（2019年）11月～令和2年（2020年）2月（予定）
 供用開始： 令和2年（2020年）2月下旬（予定）
- ③ 少路駅
- ④ 柴原駅
 ※ 令和2年度（2020年度）以降設置駅については、国・府・市との協議により確定していく



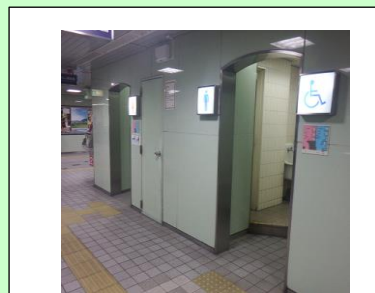
大阪モノレール路線図



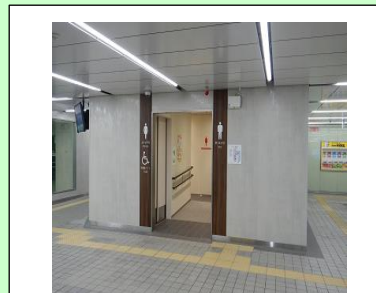
駅のトイレのリニューアルを進めました。トイレの洋式化・温水洗浄便座設置

1. 緑地公園駅（平成 30 年（2018 年）5 月完了）

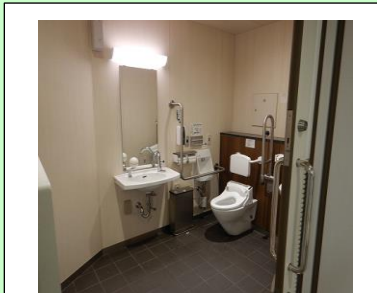
- ① 多機能トイレのスペース拡大（オストメイト対応）
- ② トイレ内段差の解消
- ③ 便器の洋式化および温水洗浄便座設置
- ④ 一般便房のスペース拡大とチャイルドチェアの設置



旧出入口(段差有)



新出入口 (段差無)



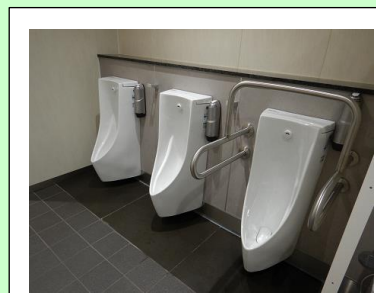
新多機能トイレ

2. 桃山台駅（平成 31 年（2019 年）3 月完了）

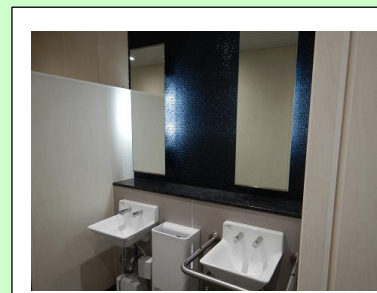
- ① 便器の洋便器化および温水洗浄便座設置
- ② 一般便房のスペース拡大とチャイルドチェアの設置



一般便房 (大)



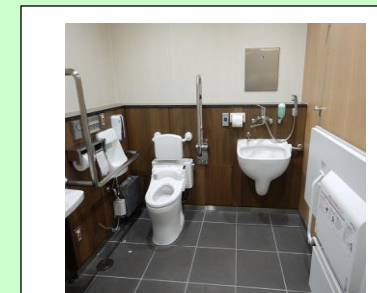
小便器



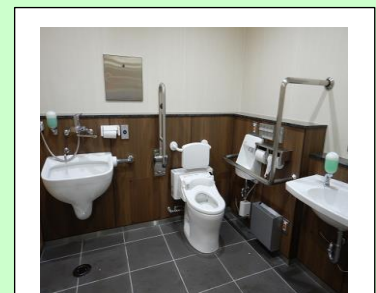
手洗い

3. 千里中央駅（令和元年（2019 年）6 月完了）

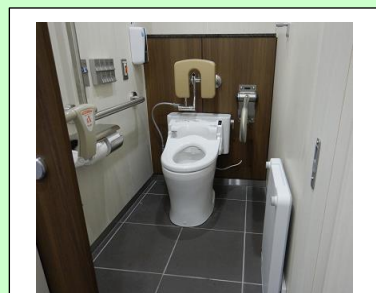
- ① 多機能トイレを増設（1 箇所から 2 箇所 左右使い勝手）
- ② 便器の洋式化および温水洗浄便座設置
- ③ 一般便房のスペース拡大とチャイルドチェアの設置



新多機能トイレ 1 (右)



新多機能トイレ 2 (左)



一般便房 (大)